



起きない子

She never wakes up. During the sex.

ばあさんに先立れ
倅の夫婦と同居を
始めて半年

恵さん
今帰ったぞー

恵さーん…

お婆
お婆

この嫁が
エロくてたまらん

家で一人の時は
たまに昼寝をしとる

家事をしながら
りもおとわあく
という仕事で
大変そうじゃ

疲れとるん
じゃなあ

今日も
ぐっすりじゃのお

そのまま
寝とっていいぞお



おほおお!

いつ見ても
豊かに実った
見事な垂れ乳よのお

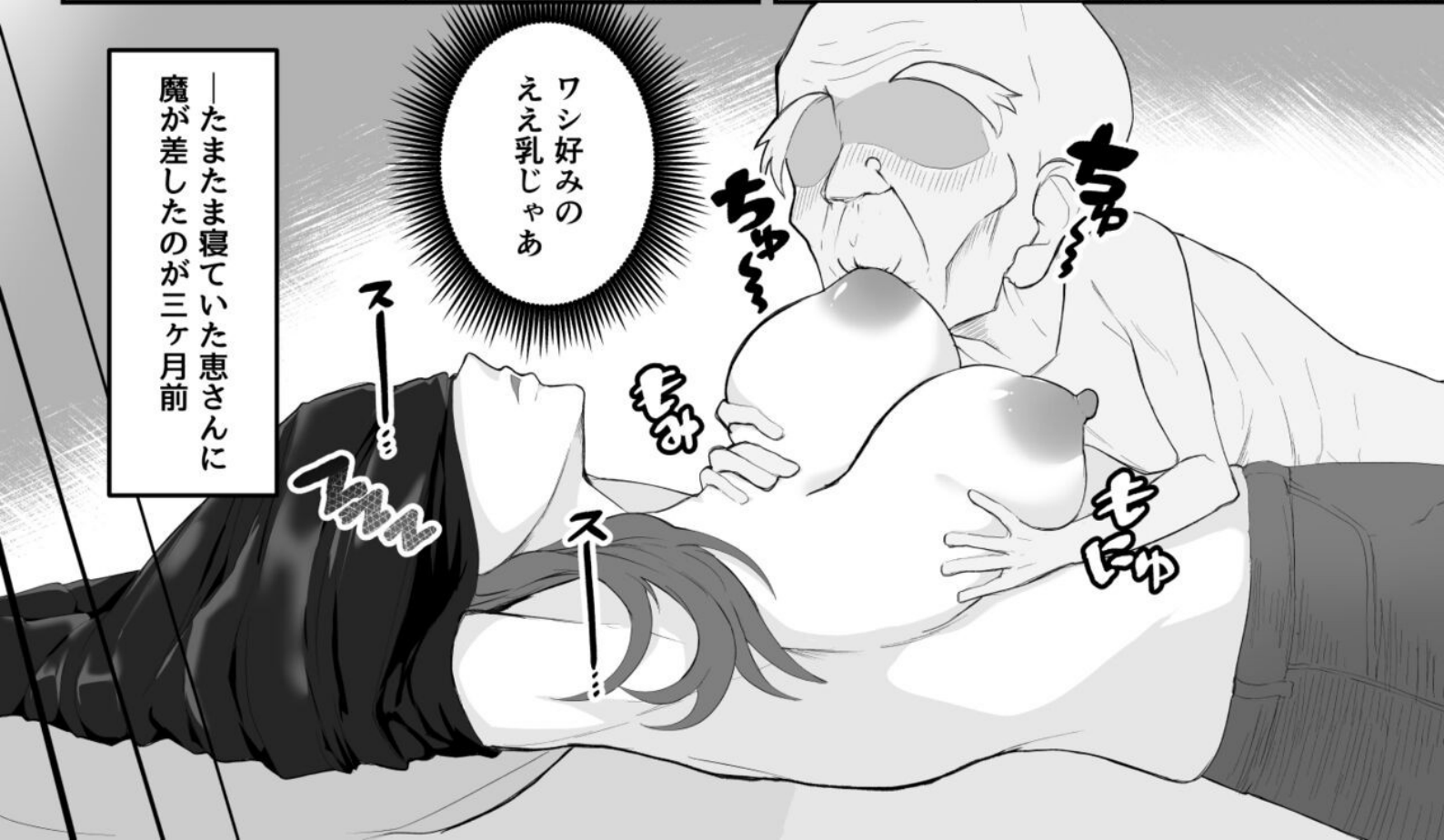


ぷっくりと隆起した
大ぶりの乳首

そこから乳房全体を
染め上げんばかりに
広がる乳輪



もちもちの柔肌と
手に伝わる量感



ワシ好みの
ええ乳じゃあ

—たまたま寝ていた恵さんに
魔が差したのが三ヶ月前



体中をまさぐり
裸に剥き舐め回した

だが不思議なことに
彼女は何をして
起きなかった



まるで意識だけ
置き忘れたかの
ように

ワシは我慢できず
自分の妻でもないのに

穏やかな表情のまま
淫らにくねる肢体



彼女の蜜壺に――

しゅわん

それから外出を装い
昼寝中の彼女で
楽しむようになった

はああ…極楽じやあ

ハハハ

何べん挿れても
たまらん名器じやあ

にぎや

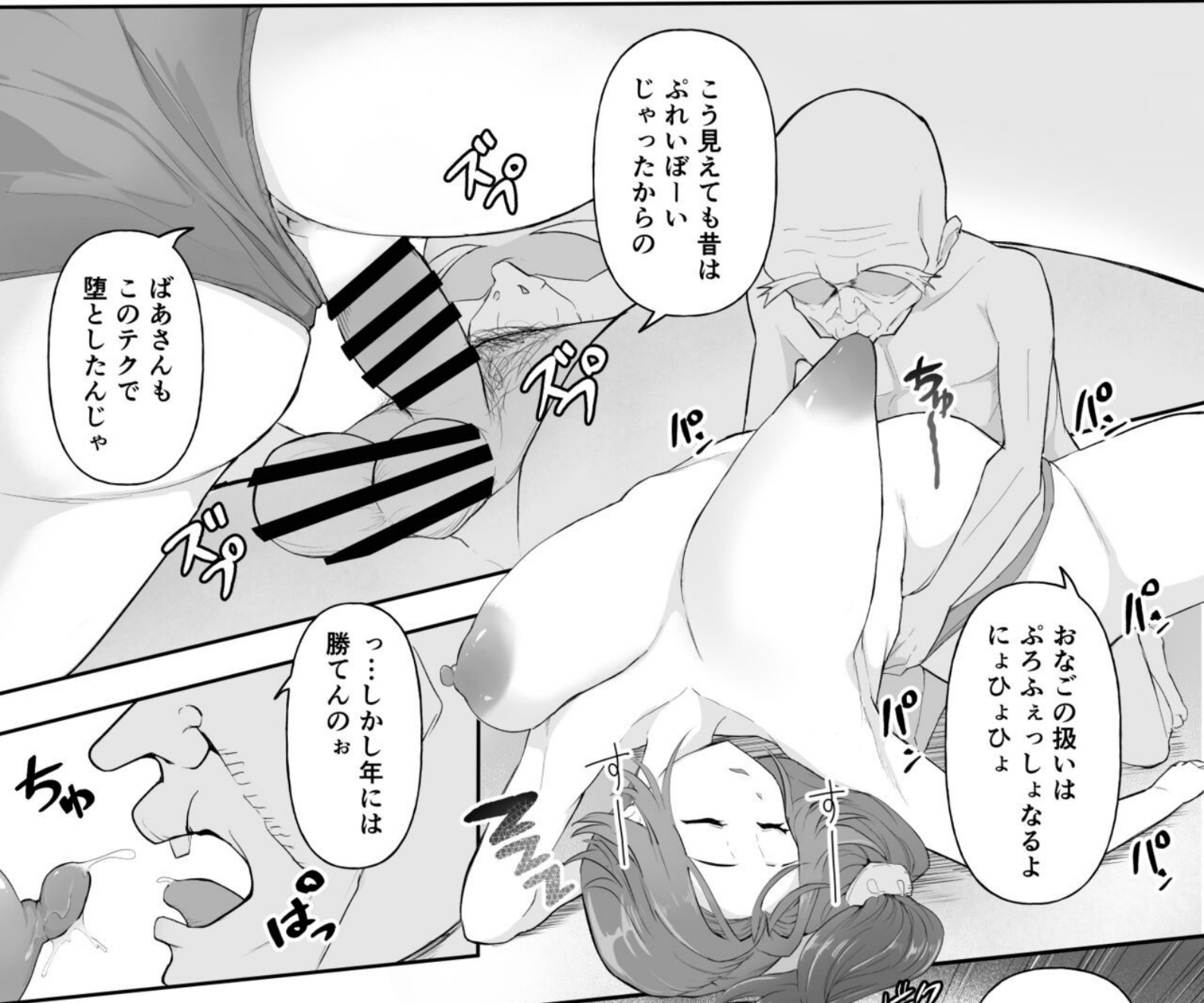
こんなに興奮するのは
ばあさん以来じやよ

恵さんも興奮しとるじゃろ？
ポルチオを突くと
ええ反応するようになった

倅は恵さんを気持ちよく
できとらんようじやなあ

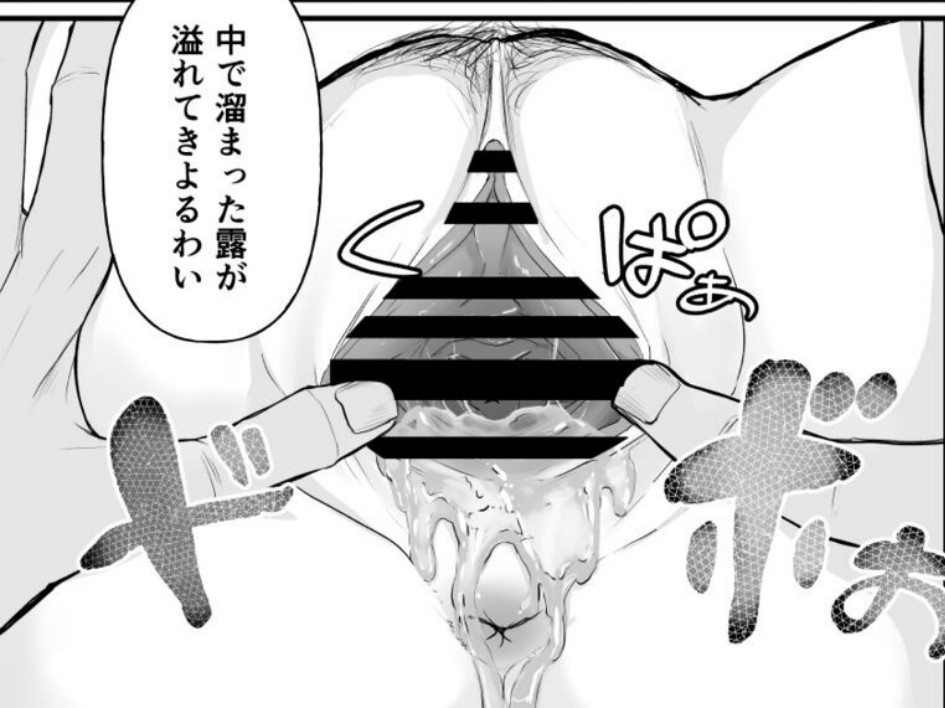
おまんこの具合で
大体分かるんじや

ぬぢ















あああ
これは眼福よ

楽じゃあ
こりやええわい

はあああ...

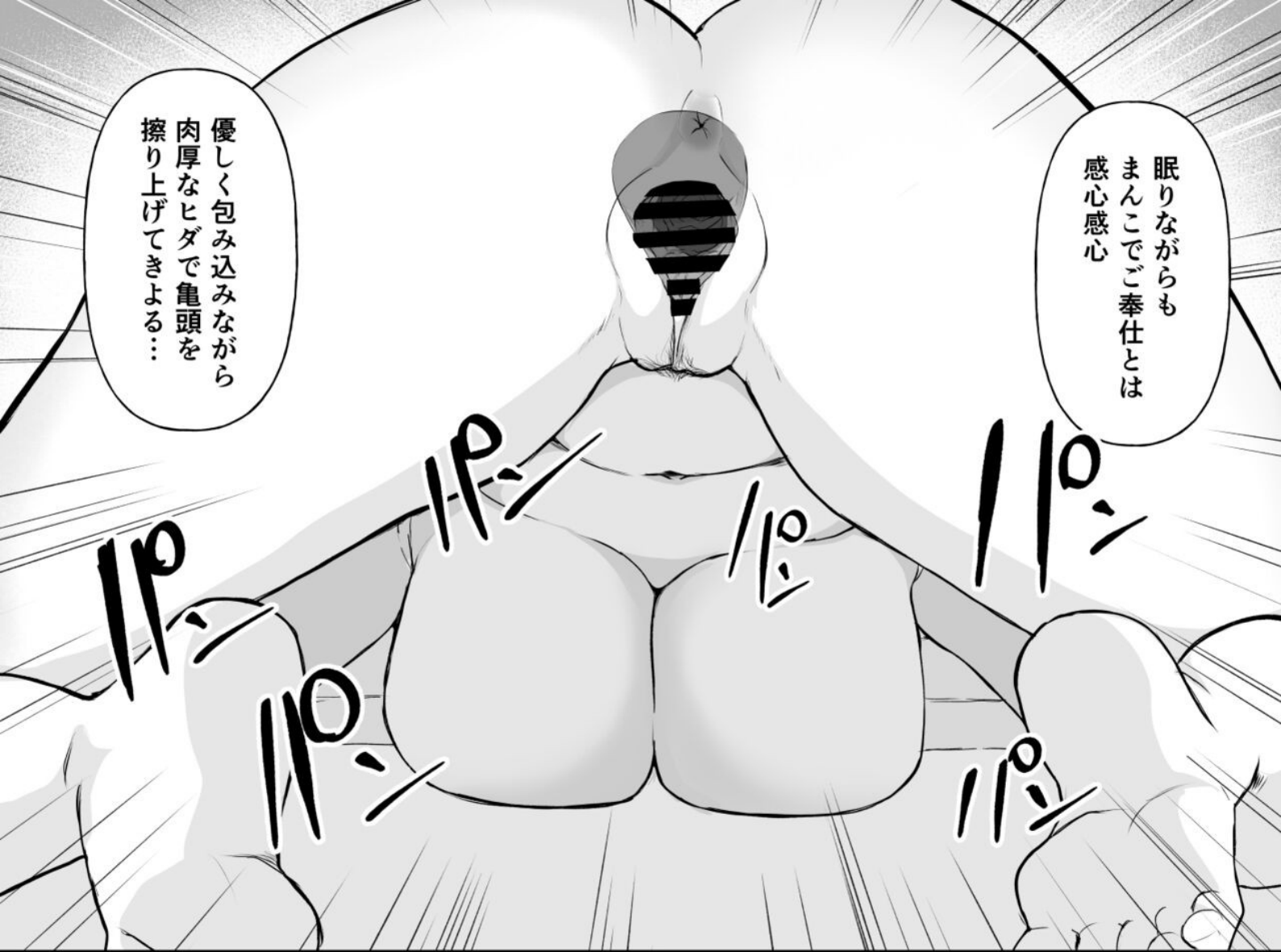
でか尻を拝みながら
おまんこできるわい

おっ無意識で
自分から腰を
振りよる

出たり入ったり
卑猥じゃのお

眠りながらも
まんこでござ奉仕とは
感心感心

優しく包み込みながら
肉厚なヒダで亀頭を
擦り上げてきよる…



ワシのちんぽが
惠さんのまんこに
食われとるみたいじゃ

一滴残らず搾り取ろうと
入口がきゅっと
締まって離さんわい

ほんに下品で
淫らな女じゃあ



一つ屋根の下
好き放題できる
まんこがあるなんて
ワシは幸せ者じゃあ

まさに天からの
恵のお

ずいゃ

んぎゅん

おほお！更にきつく
締め上げてくる

ぐちよぐちよまんこが
吸盤のように
吸いついてくるわい

そんなにワシの子種が
欲しいんかえ？

そこまでされたら
仕方ないのお

べろ

パン

パン

パン

パン

パン

パン

パン

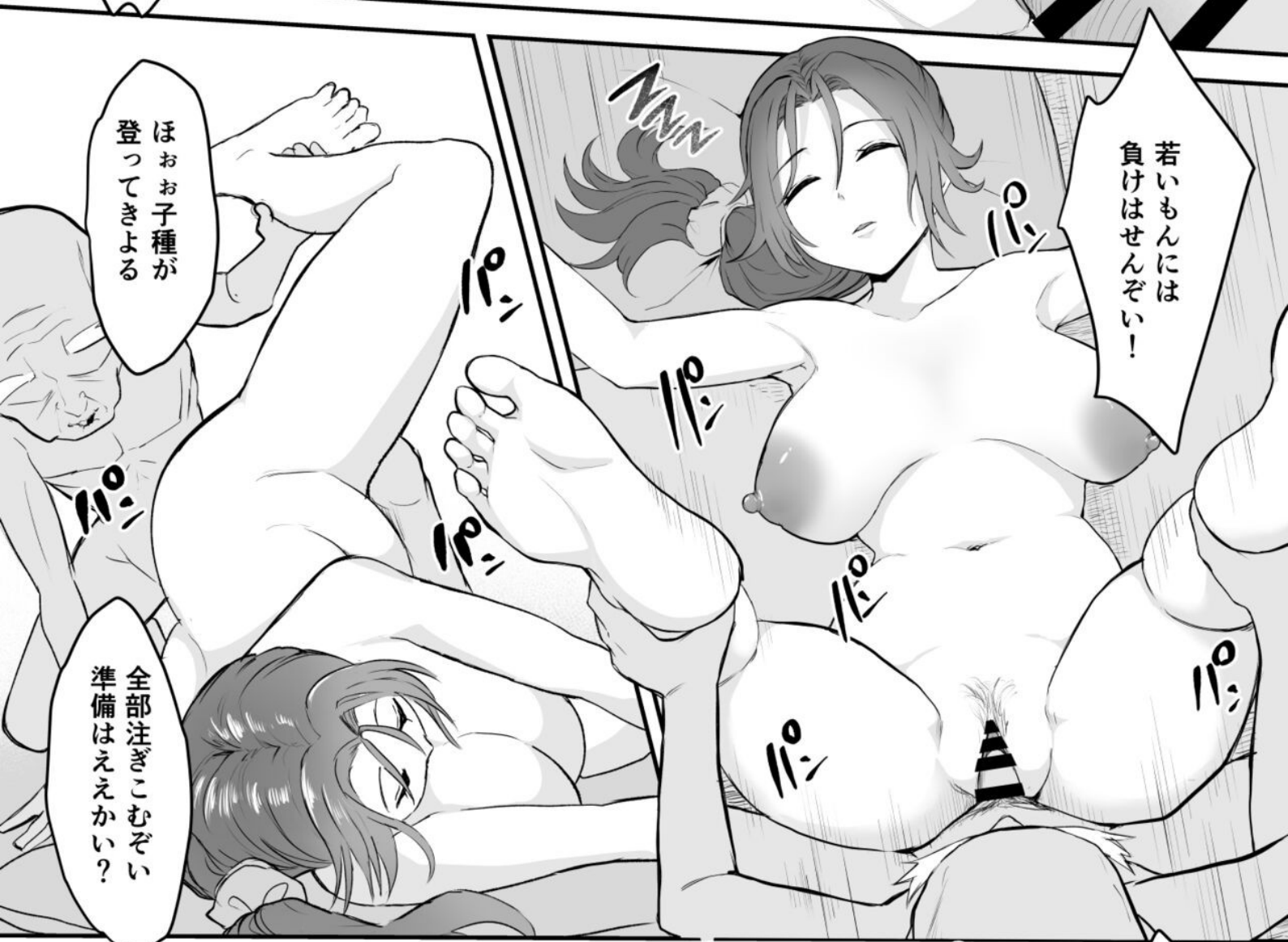
パン

パン



漢・玉三郎
齡六十九

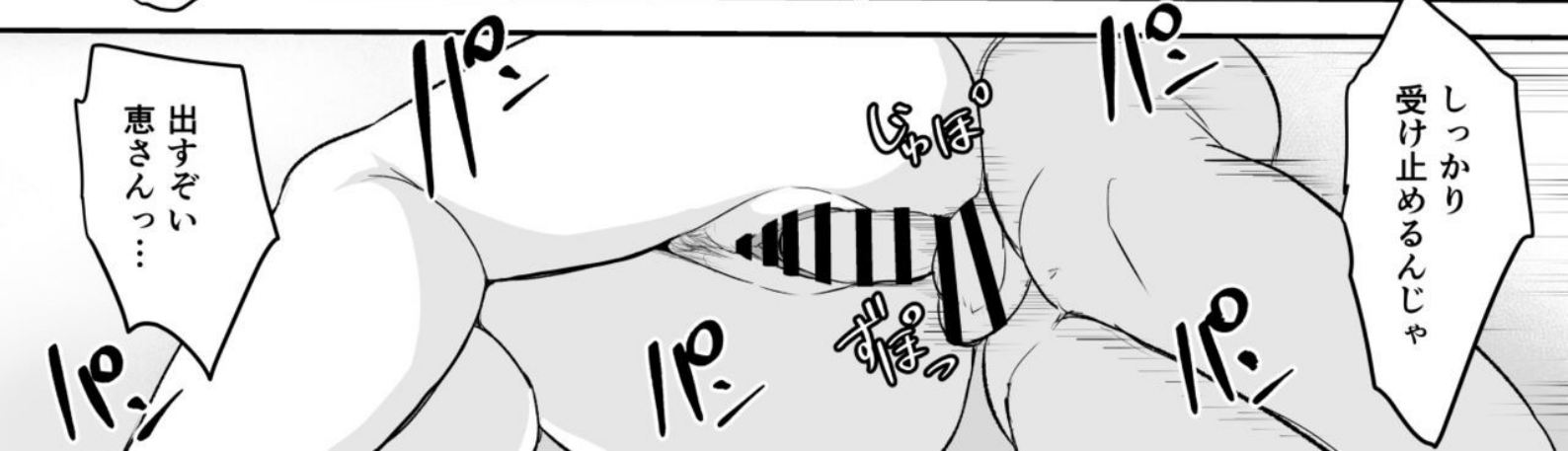
まだまだ
現役じゃあ！



若いもんには
負けはせんぞい！

ほおお子種が
登ってきよる

全部注ぎこむぞい
準備はええかい？



しっかり
受け止めるんじゃ

出すぞい
恵さんっ…



昇天しそうな
心地よさじゃあ...



